

2021年12月期 第3四半期決算短信〔日本基準〕（連結）

2021年11月8日

上場会社名 カルナバイオサイエンス株式会社 上場取引所 東
 コード番号 4572 URL <https://www.carnabio.com>
 代表者 (役職名)代表取締役社長 (氏名)吉野公一郎
 問合せ先責任者 (役職名)取締役経営管理本部長 (氏名)山本詠美 (TEL)078-302-7075
 四半期報告書提出予定日 2021年11月9日 配当支払開始予定日 —
 四半期決算補足説明資料作成の有無 : 有
 四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 2021年12月期第3四半期の連結業績（2021年1月1日～2021年9月30日）

(1) 連結経営成績(累計) (%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2021年12月期第3四半期	636	△24.9	△1,169	—	△1,171	—	△1,178	—
2020年12月期第3四半期	847	△70.4	△615	—	△625	—	△649	—

(注) 包括利益 2021年12月期第3四半期 △1,162百万円 (—%) 2020年12月期第3四半期 △654百万円 (—%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
2021年12月期第3四半期	△94.24	—
2020年12月期第3四半期	△52.93	—

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2021年12月期第3四半期	4,211	3,479	82.4
2020年12月期	4,835	3,824	79.0

(参考) 自己資本 2021年12月期第3四半期 3,468百万円 2020年12月期 3,820百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2020年12月期	—	0.00	—	0.00	0.00
2021年12月期	—	0.00	—	—	—
2021年12月期(予想)	—	—	—	0.00	0.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 2021年12月期の連結業績予想（2021年1月1日～2021年12月31日）

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり 当期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭	
通期	923	△18.5	△1,811	—	△1,816	—	△1,825	—	△147.19	

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動 : 無

(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動)

新規 一社(社名) 、除外 一社(社名)

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無

② ①以外の会計方針の変更 : 無

③ 会計上の見積りの変更 : 無

④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)

2021年12月期3Q	13,123,900株	2020年12月期	12,407,100株
2021年12月期3Q	5,124株	2020年12月期	5,124株
2021年12月期3Q	12,501,154株	2020年12月期3Q	12,264,603株

② 期末自己株式数

③ 期中平均株式数(四半期累計)

※ 四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社グループが現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	8
(継続企業の前提に関する注記)	8
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	8

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当社は、創薬事業においては、アンメット・メディカル・ニーズの高い未だ有効な治療方法が確立されていない疾患を中心に、特にがん、免疫・炎症疾患を重点領域として画期的な新薬の開発を目指して研究開発に取り組み、また、創薬支援事業においては、新たなキナーゼ阻害薬創製のための製品・サービスを製薬企業等へ提供するため、営業活動に取り組んでおります。

当社の2つのBTK阻害剤ポートフォリオのうち、免疫・炎症疾患を対象として開発を進めているBTK阻害剤AS-0871につきましては、健常人を対象としたフェーズ1試験の単回投与用量漸増試験（SAD）の投与が2020年中に完了し、全ての用量で安全性および忍容性を確認し、薬物動態も良好でした。また、AS-0871が炎症・免疫をどの程度抑えることができるのかという予備検討を実施するため、AS-0871投与後の被験者の血液を用いて、抗体の産生に関わるB細胞及び炎症反応に関わる好塩基球の活性化を検討した結果、AS-0871の用量依存的にB細胞及び好塩基球の活性化が抑制され、100mg以上の用量で薬効を得るのに十分な抑制効果が示されました。これらの結果から、AS-0871は、経口投与においてB細胞及び好塩基球の作用を抑制し、炎症性免疫疾患の治療薬として効果が期待できることを示唆しています。2021年下期から、反復投与用量漸増（MAD）試験のうち、新たに開発したカプセル製剤を用いたバイオアベイラビリティ（BA）パートを開始予定であり、その結果に基づきMADパートを開始する予定です。AS-0871の製剤についてはタブレット製剤も開発中であり、今後、タブレット製剤もヒトBAパートを実施し、上記カプセル製剤と比較する予定です。

イブルチニブを代表とする第1世代の共有結合型BTK阻害薬耐性の血液がんを治療標的とした次世代BTK阻害剤AS-1763については、2021年4月末より健常人を対象としたフェーズ1試験のSADパートにおける投与を開始しました。7月中に用量漸増パートの全ての投与が完了し、安全性、忍容性および良好な薬物動態プロファイルを確認しています。2021年中に新製剤を用いたBAパートを開始し、当該結果を基に、米国にて慢性リンパ性白血病およびB細胞リンパ腫の患者を対象としたフェーズ1b試験を実施する予定にしており、当該試験の実施に必要なIND（新薬臨床試験開始届）提出に向けて、Pre-IND（FDA、Food and Drug Administrationとの事前相談）の準備を開始しました。AS-1763は、中華圏（中華人民共和国および台湾）における開発・商業化の権利を中国バイオノバ・ファーマシューティカルズ（以下「バイオノバ社」）に供与する契約を締結しています。バイオノバ社が今後中国で実施する臨床試験データを収集・利用することで、AS-1763の治療を加速できると考えております。

CDC7阻害剤AS-0141につきましては、2021年上期に、日本国内において切除不能進行・再発又は遠隔転移を伴う固形がん患者を対象としたフェーズ1試験を開始しました。フェーズ1試験は、用量漸増パート及び用量拡大パートの2段階に分かれており、用量漸増パートでは、薬剤の投与量を増やしながら安全性と忍容性を評価し、また薬物動態や薬力学についても調べます。本パートで決定した最大耐用量と推奨用量に基づき、拡大パートでは、より多くの患者で本剤の推奨用量での安全性及び有効性を評価いたします。これまでの症例で用量制限毒性は認められておらず、コホート3（用量レベル3）に移行しています。

創薬支援事業においては、当第3四半期連結累計期間の売上高は636百万円（前年同期比19.9%減）となりました。2019年6月に創薬事業において締結した米国のギリアド・サイエンシズ社との新規がん免疫療法の創薬プログラムに関するライセンス契約に関連し、同社による当該プログラムの開発をサポートするため、当社の脂質キナーゼ阻害剤に関する創薬基盤技術を一定期間、独占的に同社に供与することとなり、当第3四半期連結累計期間の売上には、これに関連した売上も含まれています。

以上の結果、当第3四半期連結累計期間の売上高は636百万円（前年同四半期比24.9%減）、営業損失は1,169百万円（前年同四半期は615百万円の営業損失）、経常損失は1,171百万円（前年同四半期は625百万円の経常損失）、親会社株主に帰属する四半期純損失は1,178百万円（前年同四半期は649百万円の親会社株主に帰属する四半期純損失）となりました。

セグメント別の業績は次の通りです。

①創薬事業

当第3四半期連結累計期間において、創薬事業における売上高の計上はなく（前年同四半期の売上高は53百万円）、臨床試験費用を中心に研究開発へ積極的に投資したことにより、営業損失は1,368百万円（前年同四半期は963百万円の損失）となりました。

②創薬支援事業

キナーゼタンパク質の販売、アッセイ開発、プロファイリング・スクリーニングサービス及びセルベースアッ

セイサービスの提供等により、創薬支援事業の売上高は636百万円（前年同四半期比19.9%減）、営業利益は199百万円（前年同四半期比42.7%減）となりました。売上高の内訳は、国内売上が139百万円（前年同四半期比26.8%減）、北米地域は387百万円（前年同四半期比22.4%減）、欧州地域は62百万円（前年同四半期比13.6%増）、その他地域は46百万円（前年同四半期比5.2%減）であります。

（2）財政状態に関する説明

当第3四半期連結会計期間末における総資産は4,211百万円となり、前連結会計年度末と比べて624百万円減少しました。その内訳は、現金及び預金の減少508百万円等であります。

負債は731百万円となり、前連結会計年度末と比べて279百万円減少しました。その内訳は、1年内返済予定の長期借入金の減少21百万円、未払金の減少200百万円、社債の減少28百万円、長期借入金の減少105百万円等であります。

純資産は3,479百万円となり、前連結会計年度末と比べて344百万円減少しました。その内訳は、株式の発行による資本金及び資本剰余金の増加810百万円、親会社株主に帰属する四半期純損失1,178百万円の計上等であります。

また、自己資本比率は82.4%（前連結会計年度末は79.0%）となりました。

（3）連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

2021年2月12日公表の「2020年12月期 決算短信〔日本基準〕（連結）」に記載の2021年12月期の連結業績予想に変更はありません。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2020年12月31日)	当第3四半期連結会計期間 (2021年9月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	4,299,142	3,790,605
売掛金	129,175	64,873
商品及び製品	66,178	70,913
仕掛品	14,555	8,114
原材料及び貯蔵品	23,789	30,797
その他	175,352	118,698
流動資産合計	4,708,193	4,084,001
固定資産		
有形固定資産	53,330	54,556
無形固定資産	3,613	2,974
投資その他の資産	70,218	69,808
固定資産合計	127,162	127,339
資産合計	4,835,356	4,211,341

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2020年12月31日)	当第3四半期連結会計期間 (2021年9月30日)
負債の部		
流動負債		
買掛金	1,517	—
1年内償還予定の社債	28,000	28,000
1年内返済予定の長期借入金	161,897	140,040
未払金	343,956	143,388
未払法人税等	103	15,930
その他	191,719	256,955
流動負債合計	727,194	584,313
固定負債		
社債	60,000	32,000
長期借入金	179,887	74,854
資産除去債務	36,839	37,285
その他	7,425	3,162
固定負債合計	284,151	147,302
負債合計	1,011,346	731,616
純資産の部		
株主資本		
資本金	558,829	964,115
資本剰余金	4,310,038	4,715,325
利益剰余金	△1,038,476	△2,216,551
自己株式	△222	△222
株主資本合計	3,830,169	3,462,667
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	21	△390
繰延ヘッジ損益	△1,176	3,448
為替換算調整勘定	△8,554	3,041
その他の包括利益累計額合計	△9,709	6,099
新株予約権	3,550	10,958
純資産合計	3,824,010	3,479,725
負債純資産合計	4,835,356	4,211,341

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

四半期連結損益計算書

第3四半期連結累計期間

(単位：千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自2020年1月1日 至2020年9月30日)	当第3四半期連結累計期間 (自2021年1月1日 至2021年9月30日)
売上高	847,647	636,512
売上原価	132,750	95,794
売上総利益	714,897	540,717
販売費及び一般管理費	1,330,581	1,709,734
営業損失(△)	△615,684	△1,169,016
営業外収益		
受取利息	109	90
受取配当金	291	298
助成金収入	999	1,346
補助金収入	—	7,200
為替差益	—	597
その他	118	813
営業外収益合計	1,518	10,345
営業外費用		
支払利息	5,921	3,081
支払保証料	1,109	1,087
株式交付費	4,373	2,990
新株予約権発行費	—	5,952
為替差損	18	—
その他	14	30
営業外費用合計	11,437	13,143
経常損失(△)	△625,604	△1,171,814
特別利益		
新株予約権戻入益	1,000	—
特別利益合計	1,000	—
特別損失		
減損損失	22,782	6,108
特別損失合計	22,782	6,108
税金等調整前四半期純損失(△)	△647,386	△1,177,923
法人税、住民税及び事業税	1,859	5,924
法人税等調整額	△107	△5,772
法人税等合計	1,751	151
四半期純損失(△)	△649,138	△1,178,075
親会社株主に帰属する四半期純損失(△)	△649,138	△1,178,075

四半期連結包括利益計算書
第3四半期連結累計期間

(単位：千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 2020年1月1日 至 2020年9月30日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2021年1月1日 至 2021年9月30日)
四半期純損失(△)	△649,138	△1,178,075
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	388	△412
繰延ヘッジ損益	△78	4,624
為替換算調整勘定	△5,260	11,596
その他の包括利益合計	△4,950	15,809
四半期包括利益	△654,089	△1,162,265
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	△654,089	△1,162,265

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

前第3四半期連結累計期間(自 2020年1月1日 至 2020年9月30日)

株主資本の著しい変動

当第3四半期連結累計期間において、新株予約権の権利行使により、資本金が517,021千円、資本剰余金が517,021千円、当社の取締役及び従業員に対する譲渡制限付株式報酬として新株式の発行を行ったことにより、資本金が31,807千円、資本剰余金が31,807千円それぞれ増加しました。

また、2020年3月26日開催の定時株主総会の決議に基づく資本金の額の減少及び剰余金の処分により、資本金が4,647,466千円減少し、資本剰余金が285,718千円、利益剰余金が4,361,748千円増加しました。

この結果、当第3四半期連結会計期間末において、資本金が558,829千円、資本剰余金が4,310,038千円、利益剰余金が△576,582千円となっております。

当第3四半期連結累計期間(自 2021年1月1日 至 2021年9月30日)

株主資本の著しい変動

当第3四半期連結累計期間において、新株予約権の権利行使により、資本金が386,140千円、資本剰余金が386,140千円、当社の取締役及び従業員に対する譲渡制限付株式報酬として新株式の発行を行ったことにより、資本金が19,146千円、資本剰余金が19,146千円それぞれ増加しました。

この結果、当第3四半期連結会計期間末において、資本金が964,115千円、資本剰余金が4,715,325千円となっております。